

名 称 (法人名・屋号) 尼崎市工業株式会社代表者 (肩書・氏名) 代表取締役 尼崎太郎

事業計画書

事業 所 情 報	事業概要	<p>【従業員数】 13人</p> <p>【事業概要】 当社は平成2年に創業し、35年目を迎える金属加工業を営んでおり、代表的な加工処理である切削加工、塑性加工、鋳造等から表面処理加工まで多種多様な金属加工に対応しております。取引先様からの高度な品質要求に対して、当社の高い技術力で要望に応えた製品製造が可能であることから、高い評価を得ています。</p> <p>【主な製品、サービス等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 切削・研削加工等による除去加工 ・ 鋳造・塑性加工等による金属の成形加工 ・ 溶接加工による気密性が高い製品製造 ・ 表面処理加工
事業 分 析	経営状況	<p>【業界の概況】※景気動向等を踏まえ自社を取り巻く事業環境を記載 金属加工業界は、発展途上国のインフラ整備や都市化が進む中、製造業全体において需要が増加しており、それを支える金属部品には一定の需要があります。その一方で、世界情勢に部品金属等の価格は左右され、昨今の価格高騰や素材調達に多き影響が生じています。加えて、日々製品の技術革新が進み、企業間での競争は一層激しさを増し、企業の技術開発を間断なく進めていくとともに、価格競争においても優位性を確立する必要があります。</p> <p>【今後の展望】※事業の進捗や方向性等を記載 このような環境下において、競合他社に打ち勝つためには、新たな高品質な製品の開発や既存製品に改良を行い付加価値の向上に資する取り組みに加えて、加工処理の工程においてはさらなる省力化を図ることでコストカットに積極的に取り組む必要があります。</p> <p>【経営課題】※上記を踏まえた経営課題を整理して記載。 受注から納品までのリードタイムを同業他社と比較すると、弊社はやや長くなっていることが課題であります。発注者のニーズに迅速に対応することは当然のこと、製造管理に余分な経費を要していると考えられるほか、売上代金の回収にも時間がかかることからキャッシュフローの悪化を招いていると分析しています。</p> <p>また、生産管理業務においては、在庫状況等を紙台帳で管理していることから、商品及び仕掛品等のロットにより、その管理に人手と時間を要するとともに、管理職を含めた情報共有に課題があると考えています。</p>

経営状況の分析を踏まえ、
設備等を導入する事業の
課題を記載。

補助
事業
計画

事業目的

1 設備等を導入する事業の課題 【 製造業 ・ 製造業ほか 】

当社では、取引先様からいただいた図面データを基に製造する受注生産型ですが、製品の加工精度及び加工速度並びに不良率は職人の技量に依存しているため、取引先様から商品の標準化を求められています。また、当社は各種加工機械を複数台所有しておらず、一度に大量生産することに課題があり、加工の迅速化に取り組む必要があります。

製品及び材料の管理については、紙台帳を基としており、近年は受注量の増加から適切な管理が行き届いておらず、納期に時間を要するなど顧客からの信頼を損なう可能性があると考えています。

2 導入する設備等

- ・ 工作機械 マシニングセンタ ABCD123 1台
- ・ 生産管理システム ABCDE5

事業内容 ※事業の現状と設備等を導入することによる業務改善内容を記載

当社は自動車用部品の一種であるシャフトを主に製造しています。全行程を職人の手作業によって金属に様々な加工を施しているため、複雑な形状にも対応できる点が強みです。一方で、容易な加工であっても作業時間が長く、これにより製品の大量生産が難しいうえに全体的なリードタイムが縮減されない構造となっています。このような状況を改善するためには、弊社に適したマシニングセンタの導入が必要であり、職人が担っていた作業が機械化され、品質の標準化も達成できます。

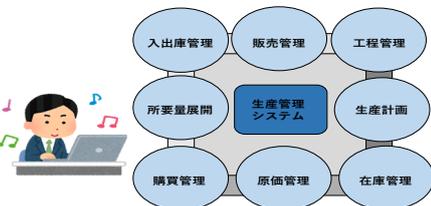
一方で、在庫等の管理業務においては、在庫の管理や受発注等の全ての業務を紙台帳で管理していることから、必要な情報に素早くアクセスできず、業務効率が悪い状況にあります。そのため、生産から売上までシステム化することで弊社の製品情報を可視化するとともに、適切で迅速な在庫管理により経営の無駄を縮減していきたいと考えています。

【イメージ図】

マシニングセンタ導入



生産管理システム導入



	事業効果	<p><u>3 省力化・生産性向上の効果</u> ※具体的な数値等により記載</p> <p>マシニングセンタ及び生産管理システムを導入することにより、製品の標準化を図ることで業務生産効率を向上させるとともに、管理業務に係る従業員の負担を軽減させます。</p> <p>【導入前】</p> <p>(製品 A) 10 個/技術者×技術者 3 人×6 時間/日×営業日 20 日 =3,600 個生産/月</p> <p>(製品 B) 5 個/技術者×技術者 3 人×6 時間/日×営業日 20 日 =1,800 個生産/月</p> <p>・(管理業務) 事務員 3 人×7 時間/日×営業日 20 日=420 時間/月</p> <p>【導入後】</p> <p>(1)マシニングセンタを導入することによる効果</p> <p>(製品 A) 45 個/技術者×技術者 1 人×6 時間/日×営業日 20 日 =5,400 個生産/月 (150%増/月)</p> <p>(製品 B) 25 個/技術者×技術者 1 人×6 時間/日×営業日 20 日 =3,000 個生産/月 (150%増/月)</p> <p>(2)生産管理システムを導入することにより期待される効果</p> <p>事務員 1 人×7 時間/日×営業日 20 日=140 時間/月 (約 65%減/月)</p> <p><u>4 投資額の回収見込み期間</u></p> <p>設備投資額 マシニングセンタ 7,540,000 円 生産管理システム 2,000,000 円 合計 <u>9,540,000 円</u></p> <p>【製品 A (1 個あたり 1,000 円)】</p> <p>1,000 円× (5,400 個-3,600 個) =1,800,000 円/月 (A)</p> <p>【製品 B】(1 個あたり 800 円)</p> <p>800 円× (3,000 個-1,800 個) =960,000 円/月 (B)</p> <p>【管理業務】(時給 1,500 円)</p> <p>1,500 円× (420 時間-140 時間) =420,000 円/月 (C)</p> <p>(A) + (B) + (C) =3,180,000 円/月</p> <p><u>9,540,000 円/3,180,000 円=3 か月で回収見込み</u></p> <p><u>5 事業効果の活用</u> ※新事業等への投資、労働時間の適正化等を記載</p> <p>上記の効果を活用し、これまでは自動車産業向けの部品製造を中心に行ってきましたが、そこで得た技術を活用して金属雑貨の製造・販売を手掛けていきたいと考えています。弊社の強みである金属の美観性を生かす技術は、食器等の雑貨類からイヤリング等のアクセサリ類にも応用できるものであり、新たな分野に参入することで経営の多角化を図りたいと考えています。</p>
--	------	--

※「補助事業計画」は具体的な資料を添付してください。